2026 年 11 月 10 日

各　　位

会 社 名　株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　野　崎　秀　則
（東証スタンダード市場・コード番号２４９８）
問合せ先　取締役統括本部長　橘　　義　規
ＴＥＬ　０３－６３１１－６６４１

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル パティンバン港開発事業が JICA の紛争回避成功事例に選出 JICA 紛争裁定委員会フォーラムに港湾部 レ プオン ドン氏が登壇

当社グループの主要な事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：米澤栄二、以下：OC Global）が施工監理を担当するインドネシアの「パティンバン港開発事業」が、国際協力機構（JICA）インドネシア事務所より「紛争回避を成功裏に成し遂げたプロジェクトの好事例」として選出されました。

これに伴い、同社港湾部次長 レ プオン ドンさんが 2026 年 11 月 4 日にインドネシアのジャカルタで開催された「The Forum for the Implementation of Dispute Board in JICA Project（JICA 紛争裁定委員会フォーラム）」において、パネリストとして登壇し、現場での経験や教訓を共有しました。



左 同社港湾部次長 レ プオン ドンさん



パティンバン港全景

セッションではステークホルダー間の効果的な連携が強調され、特に政府監査機関である BPKP（国家財政・開発監督庁）が Dispute Avoidance/Adjudication Board（紛争裁定・回避委員会）と連携して未然に紛争防止を果たす重要な役割に大きな注目を集めました。この密接な連携により、プロジェクトは紛争を起こすことなく予定通りに完了することが達成されました。本取り組みはインドネシア国内のみならず建設業界全体における今後の契約管理および紛争予防の貴重な参考事例となることが期待されています。

インドネシアでは、近年の急激な経済成長に伴い、既存港湾におけるコンテナ取扱貨物量が急増し、港湾の取扱能力がひっ迫していました。こうした状況を受け、国家戦略プロジェクトの一つとして、パティンバン地区においてインドネシア最大級の新港開発事業が進められています。本事業は、STEP（本邦技術活用条件）事業として日本の先進的な技術が導入されており、2021 年には一部が完成し、運営を開始しています。パティンバン港の周辺には、自動車や電化製品など製造業を中心とした工業団地が立地し、多くの日系企業が集積しています。新たな港湾が完成することでこれらの企業の物流コスト削減が期待されています。

OC Global は、安心安全かつ効率的なインフラ整備を行うとともに、港湾整備を通じて当該国の経済発展に寄与します。

以 上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
担当 広報室 富田早季
TEL: 03-6311-7570　FAX: 03 -6311-8020
URL: https://ocglobal.jp/ja/